



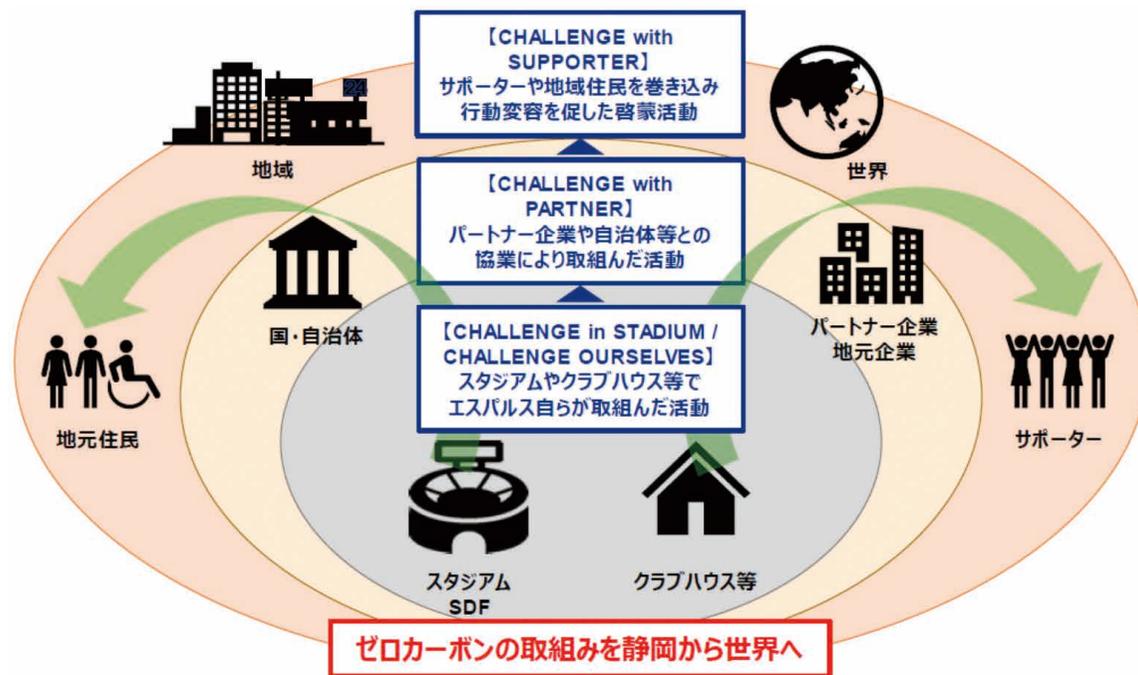
清水エスパルス「ゼロカーボン プロスポーツクラブ宣言」

～ゼロカーボン推進に向けた取り組み～

# 概要書

## 目指す姿

エスパルスは自らが率先してゼロカーボン推進に取り組むとともに、  
パートナー企業や自治体との協働によりその効果を増幅し、  
さらにはファン、サポーターや地域住民をはじめ世界の人びとへ、  
その取り組みを発信する役割を担います。



## ■事業概要

# エスパルス エコチャレンジ to 2050

## 1 CHALLENGE in STADIUM

地球にやさしいサッカースタジアムの実現を目指します。

- ホームゲームにおいてスタジアムイベントを始めとした環境啓発活動を実施
- スタジアムで生じる廃棄物の再資源化（リサイクル）システム確立
- 飲食ブースにおけるプラスチック容器削減、地産地消、食品ロス削減への取り組み
- スタジアムへのエコ来場（環境への負荷がより少ない交通手段での来場）を促進
- RE 電力（再生可能エネルギーにより調達された電力）の活用 等

## 2 CHALLENGE with SUPPORTER

ファン、サポーターと共に環境問題に取り組みます。

- ファン、サポーター参加型の環境啓発イベントを開催
- 環境教育プログラム / 教室等への講師派遣（選手・クラブスタッフ）
- 気候変動適応策（熱中症予防、防災対策など）の推進
- 家庭で生じる廃棄物の再資源化（リサイクル）への協力（クラブ関連施設でフードバンク実施、資源回収等）

## 3 CHALLENGE with PARTNER

パートナー（企業・団体など）と共に環境問題に取り組みます。

- 産学官連携による環境問題解決に向けた取り組みの検討と実施
- パートナー企業と連携した環境施策の実施
- パートナー企業による環境施策をクラブにて紹介・発信
- パートナー企業同士のビジネスマッチングを支援

## 4 CHALLENGE OURSELVES

脱炭素社会の実現へ、クラブ自らも挑戦します。

- 気候変動対策アクションへの参加
- 環境に配慮したグッズの企画販売
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 社有車を電動車に切替
- 社内資料のペーパーレス化など、デジタル化による省エネの促進
- 環境保全活動への参加、地域資源を活かした循環型社会づくりの支援
- 定期的に社内研修で環境問題や対策等に関する情報を提供し、知識・経験を共有

## ■ゼロカーボン プロスポーツクラブ宣言 表明の背景 エスパルス エコチャレンジ



エスパルスは 2007 年より  
『地球にやさしいサッカークラブであるために。  
次世代に快適にサッカーのできる環境を引き継いでいくために。』  
をコンセプトに掲げ、  
クラブのサステナビリティの一つとして  
『エスパルス エコチャレンジ』を継続的に実施しています。



## エスパルス エコチャレンジ

### ～エスパルス エコチャレンジ 第1章(2007-2012)～

2007年12月、二酸化炭素排出権購入について日本プロスポーツ界として初めて取り組むことを決定。翌年1月に株式会社三井住友銀行と契約を締結し、ブラジルの小水力発電プロジェクトにより創出されたクレジットを購入し、クラブが開催するホームゲームで排出される二酸化炭素をオフセットする取り組みを実施しました。本活動は2010年と2012年に環境大臣賞を受賞しました。

- ★2010年 地球温暖化防止活動(環境教育・普及啓発部門)環境大臣賞を受賞
- ★2012年 第1回カーボン・オフセット大賞『エスパルス エコチャレンジ』が環境大臣賞を受賞

2009年より「しずおか校庭芝生化応援団」の一員としてエスパルス三保グラウンドの整備作業の際に生じる廃材(小さな芝生の株)を利用した”ポット苗方式”による、県内の小中学校、幼稚園、保育園の校庭・園庭の芝生化を支援する活動を実施。また同年より、スタジアムで使用された紙コップの分別回収を行い、トイレトペーパーに再生する取り組みを実施しています。

## ～エスパルス エコチャレンジ 第2章(2013-2017)～

第1章で実施のカーボン・オフセット活動を継続することとし、新たに2017年までの5年間分のクレジットを購入。パートナー企業等の協力を得て、アジアの小水力発電プロジェクトなどにより創出されたクレジットを購入し、ホームゲームで排出される二酸化炭素(電力消費、ゴミ処理、シャトルバス運行等による)をオフセットする取り組みを実施しました。

2014年、2015年には環境省の気候変動キャンペーン「Fun to Share」と連携し、ホームゲームにて「環境省気候変動キャンペーン Fun to Share マッチ」を開催。

2016年より、静岡市と連携し「COOL CHOICE啓発活動」に取り組み、小学生のアイデアによるエコCM作成、ホームゲームでの啓発活動、環境授業への講師派遣、地元企業と連携したイベント開催等、市民参加型の企画で普及啓発を実施しています。

## ～エスパルス エコチャレンジ 第3章(2018-2020)～

2018年からは、これまで実施してきた校庭・園庭芝生化や紙コップの分別回収、COOL CHOICE啓発活動等の継続と発展に取り組んでおります。2020年にはCOOL CHOICE事業の一環として、静岡市シェアサイクル事業にブランド協力し、Jクラブ初のクラブ公認シェアサイクル「PULCICLE」をスタートさせました。

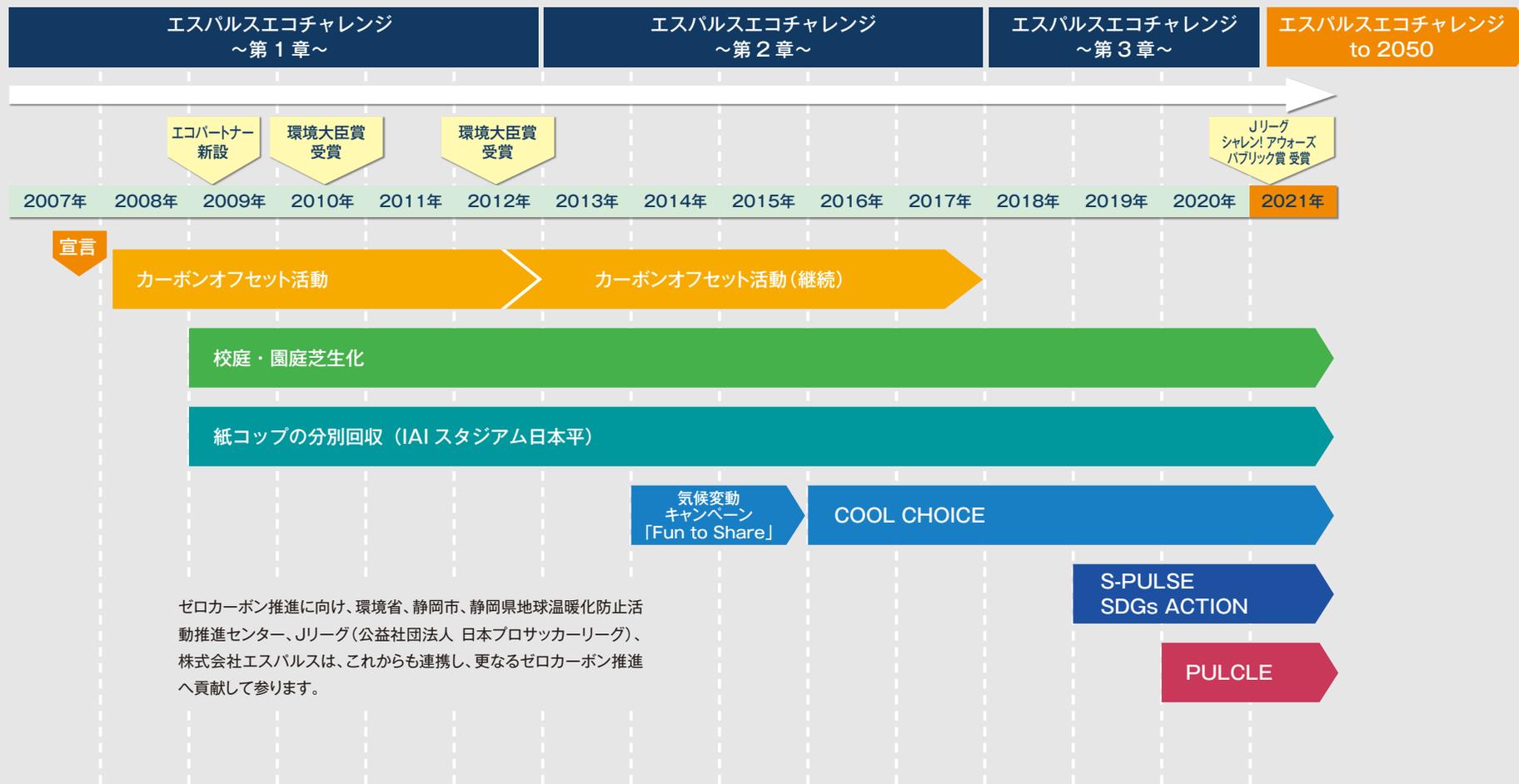
また、2019年には持続可能な開発目標(SDGs)にも積極的に取り組んでいく姿勢の表明として、Jリーグクラブ初、優先的に取り組むSDGs目標ならびにロゴ・キャッチフレーズを策定し、「S-PULSE SDGs ACTION」に取り組んでいます。

## ～エスパルス エコチャレンジ to 2050(2021-)～

エスパルスは、サッカーを愛し、地域スポーツ文化の発展に寄与するクラブとして、次世代にサッカーを快適に楽しめる環境を残すことはクラブの使命であり、さらに地球に貢献できることは、クラブの喜びと考えております。一流のサッカークラブを目指すのみならず、サステナビリティにおいてもグローバルスタンダードをクラブの標準とし、これからも様々な挑戦を続けてまいります。

このような背景より、2021年11月、2050年までの脱炭素社会の実現をはじめ、SDGs達成への貢献、そしてこれまでクラブが継続的に取り組んできた「エスパルス エコチャレンジ」のさらなる充実を目指し、SDGs推進クラブとしてスポーツの力で持続可能な社会の実現に向け、地域とともに力強く歩みを進めていく意志を持ち『ゼロカーボン プロスポーツクラブ宣言』を表明いたします。

## 参考：エスパルス エコチャレンジの歴史



**シャレン!**  
Jリーグ社会連携



**S-PULSE  
SDGs ACTION**  
地域と共に未来につなぐ